

公 告

令和 7 年度大分河川国道事務所管内等における災害時等応急対策工事および業務に関する基本協定（機械設備）

次のとおり公告します。

令和 7 年 1 月 1 4 日

九州地方整備局

大分河川国道事務所長 谷川 征嗣

1 基本協定の概要等

(1) 基本協定名

令和 7 年度大分河川国道事務所管内等における災害時等応急対策工事および業務に関する基本協定（機械設備）

(2) 基本協定の目的

大分河川国道事務所管理区間において発生した災害又は災害の発生が予測された場合の応急対策に関し、これに必要な組織及び建設機械、並びに資材、労力等（以下「建設資機材等」という）の確保及びその動員の方法を定め、災害の拡大防止と被害施設の早期復旧に期することを目的として行うものである。

基本協定は、表－1 に示す区分毎に締結するものとする。

また、大分河川国道事務所管理区間内外において広域的支援が必要となる場合は、本協定に基づく対応を行うものである。

(3) 基本協定区間

大分河川国道事務所管内

(4) 基本協定期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで

(5) 基本協定の締結業者の選定

本協定締結業者の選定については、地域の精通度、施工実績、資材・機材の確保、災害協定締結の実績等を提出された技術資料等から総合的に評価して協定締結業者を 2 0 社程度決定する。

(6) 災害時等応急対策工事の実施方法

基本協定締結後、災害等が発生し緊急的に工事又は業務を実施する場合は、速やかに工事又は業務請負契約を締結する。工事又は業務の実施に当たっては関係法令を遵守するものとする。

但し、基本協定を締結した場合でも災害等の発生がなかった場合は、実際の工事又は業務を行わないことを付記する。

2 参加資格要件

(1) 予算決算及び会計令第 9 8 条において準用する第 7 0 条及び第 7 1 条の規定に該当しない者であること。

(2) 九州地方整備局管内に本店又は支店等営業所が所在すること。

(3) 基本協定の区分毎に、表－2－(1)から(9)の表内①に示す要件を満足すること。

1) 九州地方整備局（港湾空港関係を除く）における令和 7・8 年度機械設備工事、又は暖冷房衛生設備工事、又は一般土木工事に係る B、C 等級又は維持修繕工事に係る一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること又は申請中であること。

なお、令和 7 年 4 月 1 日時点において認定されていない者の申請は、基本協定を締結する資格を有しない者の申請として、当該申請を無効とする。

2) 九州地方整備局（港湾空港関係を除く）における令和 7・8・9 年度国土交通省

競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」、又は「車両整備」のA、B、C又はD等級に格付けされた九州・沖縄地域の競争参加資格の認定を受けている又は申請中であること。

なお、令和7年4月1日時点において認定されていない者の申請は、基本協定を締結する資格を有しない者の申請として、当該申請を無効とする。

競争参加資格の申請の時期及び場所については、「競争参加者の資格に関する公示」（令和6年3月29日付官報）に記載されている時期及び場所で申請を受け付ける。

- (4) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記（3）の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (5) 協定締結対象業者は経常共同企業体を除く。
- (6) 元請けとして基本協定の区分毎に、表－2－(1)から(9)の表内②に示す施工実績があること。
なお、基本協定の区分(1)から(8)については、当該実績が九州地方整備局（港湾空港関係は除く。）の発注した工事に係る実績である場合においては、工事成績通知書の評定点が65点以上であることとし、基本協定の区分(9)については、自動車分解整備事業の認証又は指定自動車整備事業の指定を受け、大分県内に整備可能な工場を有していることとする。
- (7) 緊急業務に対応した体制の確保として、基本協定の区分毎に、表－2－(1)から(9)の表内③に示す体制が確保できること。
- (8) 協力依頼対象地域内において必要な資材・機材確保が確認できる「資材及び機材の保有量一覧表」又は「調達計画表」の提出ができること。
- (9) 協定締結参加資格確認申請書（以下「申請書」という）及び技術資料の提出期限の日から締結業者決定の時までの期間に、九州地方整備局長から工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（昭和59年3月29日付け建設省厚第91号）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (10) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

3 技術資料の総合評価に関する事項等

- (1) 技術資料等説明書に示す評価項目について、評価基準に基づき評価する。

4 基本協定に関する手続等

(1) 担当部局

〒870-0820 大分県大分市西大道一丁目1番71号
国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所 防災課
電話：097-546-1525（直通）
FAX：097-546-4700
担当：防災課 課長 岩切 誠久（内線281）
同 防災対策係長 半田 正（内線284）

(2) 技術資料等説明資料の交付期間、場所及び方法

①交付期間：令和7年1月14日（火）から令和7年1月27日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで。

②交付場所：〒870-0820 大分県大分市西大道一丁目1番71号
国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所 防災課

③交付方法：担当部局に電話連絡後、電子データによる交付

(3) 協定締結参加申請書及び資料等の提出期間、場所及び方法

①提出期間：令和7年1月14日（火）から令和7年1月27日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで。

②提出場所：上記４（１）に同じ。

③提出方法：持参又は郵送等（郵送は書留郵便に限る。託送は書留郵便と同等のものに限る。提出期間内必着。）により提出する。

５ その他

- （１）技術資料の作成要領協定締結業者の評価及び決定方法などの詳細については、「技術資料等説明書」による。
- （２）本協定締結後において本協定は、当事務所が発注する機械設備工事において、総合評価入札制度における評価項目とする場合がある。
- （３）当事務所において公示を行っている他の令和７年度における「災害時等応急復旧対策工事に関する基本協定の締結」において重複して選定された際は、履行の実行性を確認する場合がある。
- （４）基本協定の区分（７）においては、当事務所が保有する災害対策車等の取り扱いについて、自主的に訓練を希望する場合は、保管場所において訓練できるものとする。
- （５）請負契約を取り交わす時点において、基本協定締結業者が法定外労働災害補償制度（元請、下請を問わず補償できる保険）に加入していること。

表－１ 基本協定の区分

	区分	広域的支援	区分の詳細
(1)	水門設備	該当	表－１別表(1)-1、2
(2)	排水機場設備		表－１別表(2)
(3)	ななせダム機械設備		表－１別表(3)-1、2
(4)	排水ポンプ車	該当	表－１別表(4)
(5)	トンネル消火設備		表－１別表(5)
(6)	道路排水設備		表－１別表(6)
(7)	災害対策車運搬等	該当	表－１別表(7)
(8)	簡易遠隔操縦装置	該当	表－１別表(8)
(9)	災害対策車整備	該当	表－１別表(9)

表－２－(1) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（水門設備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）機械設備工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	大分河川国道事務所管内で、平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の機械設備（小形水門設備同等以上で、電動開閉機あるいは油圧開閉機を備える設備）の工事等（工事又は点検又は修繕）の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級土木施工管理技士、１級土木施工管理技士補又は２級土木施工管理技士を取得している者を確保できること。

表－２－(2) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（排水機場機械設備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）機械設備工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の排水機場機械設備（陸用ポンプ又は水中ポンプ）の工事等（工事又は点検又は修繕）の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級又は２級ポンプ施設管理技術者資格を取得している者を確保できること。

表－２－(3) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（ななせダム機械設備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）機械設備工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の機械設備工事等（工事又は点検又は修繕）の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級土木施工管理技士、１級土木施工管理技士補又は２級土木施工管理技士を取得している者を確保できること。

表－２－(4) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（排水ポンプ車）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の排水機場機械設備（陸用ポンプ又は水中ポンプ）の工事等（工事又は点検又は修繕）又は排水ポンプ車の製造又は点検又は修繕の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級又は２級ポンプ施設管理技術者資格を取得している者を確保できること。

表－２－(5) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（トンネル消火設備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）機械設備工事又は暖冷房衛生設備工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の排水機場機械設備（陸用ポンプ又は水中ポンプ）の工事等（工事又は点検又は修繕）又はトンネル消火設備の工事等（工事又は点検又は修繕）の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級又は２級ポンプ施設管理技術者資格を取得している者を確保できること。

表－２－(6) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（道路排水設備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）機械設備工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の排水機場機械設備（陸用ポンプ又は水中ポンプ）の工事等（工事又は点検又は修繕）又は道路排水設備の工事等（工事又は点検又は修繕）の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	３名以上の機械設備又は電気設備に関する実務経験者あるいは１級又は２級ポンプ施設管理技術者資格を取得している者を確保できること。

表－２－(7) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（災害対策車運搬等）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）１）一般土木工事又は維持修繕工事、かつ２）「役務の提供等」のうち「建物管理等各種保守管理」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	大分河川国道事務所管内で、平成３１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の一般土木工事又は維持修繕工事の施工実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	大型自動車の運転免許所有者２名以上、玉掛け・移動式クレーン運転資格所有者１名以上、その他作業員２名以上（大型運転免許所有者と玉掛け・移動式クレーン運転資格所有者は、同一者でよい。）を確保できること。

表－２－(8) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（簡易遠隔操縦装置）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）２）「役務の提供等」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	平成２１年４月以降に遠隔操縦装置又は遠隔操縦式建設機械（遠隔操縦装置のみでも可）の工事等（納入又は点検又は修繕）の実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	操作資格者１名以上含む作業員３名以上を確保できること。（１級土木施工管理技士の資格を有する場合は、評価の対象とする。）

表－２－(9) 基本協定の区分毎における競争参加資格要件（災害対策車整備）

①資格の認定又は登録に係る事項	公告２（３）２）「役務の提供等」のうち「車両整備」の条件を満たしていること。
②施工実績に係る事項	大分河川国道事務所管内で、平成２１年４月以降に国、旧公団、県市町村等又は公益企業発注の路面清掃車（側溝清掃車、排水管清掃車、散水車、対策本部車、照明車、情報収集車を含む）の整備又は建設機械の整備の実績があること。
③緊急時の業務体制に係る事項	機械設備に関する実務経験者あるいは自動車整備士又は建設機械整備士資格（種類は問わない）を取得している者を確保できること。

上記、表－２に示す記載する機械設備又は電気設備に関する実務経験とは次表のとおりとする。

学歴	必要な実務経験年数	
	指定学科を修めた者	指定学科以外の者
大 学 卒 業 後	２年以上	３年以上
短大・高専卒業後	３年以上	４年以上
高 校 卒 業 後	５年以上	６年以上
そ の 他	８年以上	

※指定学科とは「機械工学又は電気工学に関する学科」とする。

※大分河川国道事務所管内とは、中津市、宇佐市、杵築市、豊後高田市、国東市、姫島村、日出町、別府市、大分市、由布市、九重町、玖珠町、日田市をいう。

表－ 1 別表(1)－1 水門設備（大分川水系）

実施内容：故障等の復旧

番号	施設名	河川名	距 離	ゲ ー ト				開閉方式			水位計		発電機	遠 隔 監視盤	電 源 切替盤	備 考
				形式	呑口寸法	投影 面積	門数	動 力	形 式		内水位	外水位				
1	津留排水樋管	大分川	右 0/380	R G F G	B 3.500×H3.500 B 3.000×H2.750	12.3 8.3	2	電 動 電 動	ビンラック 油圧シリンダ式	連動	○	○	○	○	○	
2	今津留樋管	大分川	右 2/010	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
3	襄川樋門	大分川	右 2/685	R G	B 3.000×H2.500	7.5	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
4	坊ヶ小路樋管	大分川	左 2/860	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
5	下郡樋管	大分川	右 2/925	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
6	羽田樋門	大分川	右 3/925	R G	B 2.500×H2.500	6.3	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
7	古国府第二樋管	大分川	左 4/246	R G	B 1.250×H1.250	1.6	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
8	津守樋管	大分川	左 4/605	R G	B 3.000×H2.750	8.3	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
9	広瀬樋門	大分川	左 4/684	R G	B 2.750×H3.000	8.3	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
10	古国府樋管	大分川	左 4/995	F G	B 0.800×H0.800	0.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
11	富岡排水樋管	大分川	右 5/380	F G	B 0.800×H0.800	0.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
12	花園樋門	大分川	左 5/870	R G	B 2.500×H2.750	6.9	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
13	赤川樋門	大分川	右 7/780	R G	B 3.800×H2.800	10.6	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
14	下宗方樋管	大分川	右 8/100	R G	B 1.300×H1.300	1.7	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	操作盤搭載型開閉機
15	宗方樋管	大分川	右 8/810	R G	B 2.250×H2.000	4.5	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
16	(旧)奥田第一樋管	大分川	左 8/860	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
17	奥田第一樋管	大分川	左 8/884	R G	B 1.800×H1.800	3.2	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
18	中島排水樋管	大分川	左 10/975	R G	B 3.000×H3.500	10.5	1	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
19	賀来第二樋管	大分川	左 11/105	S G	B 1.000×H1.000	1.0	1	簡易電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
20	国分樋管	大分川	左 11/310	R G	B 2.750×H3.000	8.3	1	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
21	小野鶴樋管	大分川	右 12/135	R G	B 2.000×H2.250	4.5	2	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
22	国分第一樋管	大分川	左 12/522	F L G	B 1.500×H1.600	2.4	1	手 動	油圧シリンダ式		無	無	無	無	無	
23	国分第二樋管	大分川	左 12/855	F L G	B 1.200×H1.300	1.6	1	手 動	油圧シリンダ式		無	無	無	無	無	
24	下横瀬樋門	大分川	左 13/323	R G	B 3.500×H2.750	9.6	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
25	太郎丸樋門	大分川	右 14/350	R G	B 4.100×H2.500	10.3	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
26	下宗方第二樋管	七瀬川	左 0/032	R G	B 2.000×H2.000	4.0	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
27	八幡田排水樋管	七瀬川	左 0/705	F G	B 0.800×H0.800	0.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
28	桑本樋管	七瀬川	左 0/850	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
29	光吉樋管	七瀬川	右 0/950	F G	B 0.800×H0.800	0.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
30	桑本第二排水樋管	七瀬川	左 1/030	R G	B 1.250×H1.250	1.6	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	高機能型機側操作盤
31	桑本第三樋管	七瀬川	左 1/335	R G	B 2.500×H2.500	6.3	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
32	田尻排水樋管	七瀬川	左 1/480	R G	B 1.250×H1.250	1.6	1	簡易電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
33	桑本第四樋管	七瀬川	左 2/160	R G	B 1.500×H1.500	2.3	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
34	高瀬樋管	七瀬川	右 2/510	R G	B 2.000×H2.000	4.0	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
35	栗野樋管	七瀬川	左 2/610	S G	B 1.250×H1.250	1.6	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
36	高瀬第二樋管	七瀬川	左 2/865	F G	B 0.900×H0.900	0.8	1	無 し			無	無	無	無	無	
37	市下流樋門	七瀬川	右 3/075	R G	B 5.000×H4.000	20.0	2	電 動	ビンラック	連動	○	○	○	○	○	
38	市上流樋門	七瀬川	右 3/500	R G	B 4.750×H2.600	12.4	2	電 動	ビンラック	連動	無	○	○	○	○	
39	田島樋管	七瀬川	左 3/585	R G	B 1.750×H1.750	3.1	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
40	口戸樋管	七瀬川	左 4/160	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
41	木ノ上第一樋管	七瀬川	左 5/325	R G	B 1.750×H1.500	2.6	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
42	木ノ上第二樋管	七瀬川	左 5/700	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
43	内植田樋管	七瀬川	右 5/855	S G	B 1.000×H1.250	1.3	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	操作盤搭載型開閉機
44	木ノ上第三樋管	七瀬川	左 5/900	R G	B 1.250×H1.250	1.6	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
45	廻栖野樋管	七瀬川	右 6/360	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
46	廻栖樋管	七瀬川	右 7/250	S G	B 1.000×H1.000	1.0	1	手 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
47	中島樋管	賀来川	右 0/260	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
48	中島第二樋管	賀来川	右 0/745	S G	B 2.000×H2.000	4.0	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
49	賀来樋管	賀来川	左 0/995	F G	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
50	東院樋管	賀来川	右 1/560	S G	B 1.000×H1.000	1.0	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
51	宮苑第一樋管	賀来川	左 1/610	F G	B 3.000×H2.000	6.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
52	宮苑第二樋管	賀来川	左 1/638	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
53	東院第二樋管	賀来川	右 1/711	S G	B 1.000×H1.000	1.0	1	電 動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
54	宮苑第三樋管	賀来川	左	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
55	宮苑第四樋管	賀来川	左	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
56	宮苑第五樋管	賀来川	左	F G	B 1.000×H1.500	1.5	1	無 し			無	無	無	無	無	
57	宮苑第六樋管	賀来川	左	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
58	宮苑第七樋管	賀来川	左	F G	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
59～75	豊海地区フラップゲート	大分川	左 -0/600 ～ 0/000	F G	B 0.450×H0.450	0.2	17	無 し			無	無	無	無	無	1門×17箇所

対象設備数（樋門樋管設備 ※フラップゲート含む）

ゲート形式別			開閉機別		
R G	27 箇所	39 門	電動	32 箇所	45 門
S G	7 箇所	7 門	簡易電動	2 箇所	2 門
F G	40 箇所	41 門	手動	3 箇所	3 門
F L G	2 箇所	2 門	無し	39 箇所	39 門
合 計	76 箇所	89 門	合 計	76 箇所	89 門

表－ 1 別表(1)-2 水門設備（大野川水系）

実施内容：故障等の復旧

番号	施設名	河川名	距 離	ゲート				開閉方式			水位計		発電機	遠隔監視盤	電源切替盤	備 考
				形式	呑口寸法	投影面積	門数	動力	形式		内水位	外水位				
1	小中島樋管	大野川	左 1/610	SG FLG	B 0.600×H0.600 B 1.300×H0.800	0.4 1.0	1	手動 手動	ビンラック 油圧シリンダ式	単動	無	○	○	無	○	
2	西土代樋門	大野川	右 2/140	SG	B 1.800×H1.800	3.2	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
3	丸の口樋管	大野川	右 2/680	FG	B 1.500×H1.500	2.3	1	無 し			無	無	無	無	無	
4	大谷樋門	大野川	右 7/545	RG	B 5.850×H3.700	21.6	3	電動	可動ラック	連動	○	○	／	○	無	
5	乙津川導水路二号堰 乙津川導水路三号堰	大野川	左 9/565	起伏堰 起伏堰	B11.500×H1.000 B11.500×H0.900	11.5 10.4	1 1	電動 電動	油圧シリンダ式 油圧シリンダ式		○			無	無	
6	宮谷樋門	大野川	右 10/389	RG	B 4.600×H2.500	11.5	2	電動	ビンラック	連動	○	○	○	無	無	
7	宮河内排水樋管	大野川	右 10/720	FG	B 0.900×H0.900	0.8	1	無 し			無	無	無	無	無	
8	下戸次排水樋管	大野川	右 11/480	FG	B 1.250×H1.250	1.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
9	大内水門	大野川	右 11/695	RG	B 3.000×H3.500	10.5	2	電動	ビンラック	連動	○	○	○	○	無	
10	古川水門	大野川	右 12/111	RG	B13.000×H4.800	62.4	2	電動	ワイヤロープ式		○	○	／	○	無	
11	乙津川導水路一号堰	大野川	左 12/280	起伏堰 起伏堰	B 8.500×H1.000 B 3.000×H1.000	8.5 3.0	1 1	電動 電動	油圧シリンダ式 油圧シリンダ式		○			無	無	
12	成松樋管	大野川	左 12/360	FG	B 0.300×H0.300	0.1	1	無 し			無	無	無	無	無	
13	辰口排水樋管	大野川	左 14/730	RG	B 1.500×H1.500	2.3	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
14	川床樋管	大野川	右 15/200	RG	B 2.500×H2.350	6.9	1	電動	ビンラック	連動	○	○	○	○	無	
15	竹中排水樋管	大野川	左 17/660	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
16	竹中樋門	大野川	左 17/820	SG	B 1.250×H1.250	1.6	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	○	
17	中竹中樋管	大野川	左 18/120	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	手動	ウインチ		無	無	無	無	無	
18	竹中陸門	大野川	左 18/290	横引き	B 4.000×H1.500	5.4	1	手動	——		無	無	無	無	無	
19	利光第一樋門	大野川	右 18/485	ホトゲート	B 3.000×H2.750	8.3	1	手動	ウインチ		無	無	無	無	無	
20	利光第二樋門	大野川	右 18/650	ホトゲート	B 1.500×H1.600	2.4	1	手動	ウインチ		無	無	無	無	無	
21	利光第三樋門	大野川	右 18/760	ホトゲート	B 2.000×H2.000	4.0	1	手動	ウインチ		無	無	無	無	無	
22	原樋管	乙津川	左 0/030	RG FG	B 1.500×H1.700 B 0.900×H0.900	2.6 0.8	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	無	
23	三ツ川第三樋管	乙津川	左 0/370	SG FLG	B 0.700×H0.700 B 1.300×H0.800	0.5 1.0	1	手動 手動	ビンラック 油圧シリンダ式	単動						○
24	海原第二樋管	乙津川	右 0/685	SG FLG	B 1.000×H1.000 B 1.300×H0.800	1.0 1.0	1	簡易電動 手動	ビンラック 油圧シリンダ式	単動	○	○	○	無	○	
25	三ツ川第二樋管	乙津川	左 0/785	RG FLG	B 2.000×H2.000 B 1.300×H0.800	4.0 1.0	1	電動 手動	ビンラック 油圧シリンダ式	単動	○	○	○	○	無	
26	海原第一樋管	乙津川	右 0/995	FG	B 1.000×H1.000	1.0	1	無 し			無	無	無	無	無	
27	三ツ川第一樋管	乙津川	左 1/835	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
28	乙津第三樋管	乙津川	左 2/175	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
29	乙津第一樋管	乙津川	左 2/510	RG FG	B 3.000×H3.300 B 2.500×H2.500	9.9 6.3	2	電動 簡易電動	ビンラック ワイヤロープ式	連動	無	○	○	○	無	
30	乙津第二樋管	乙津川	左 2/705	RG FG	B 4.000×H3.050 B 3.500×H2.300	12.2 8.1	1	電動 簡易電動	ビンラック ワイヤロープ式	連動						無
31	国宗樋管	乙津川	右 3/595	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
32	皆春第一樋管	乙津川	左 4/170	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
33	堂園第二樋管	乙津川	右 4/405	RG	B 2.000×H2.000	4.0	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
34	皆春第二樋管	乙津川	左 4/650	SG	B 2.000×H1.750	3.5	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	高機能型機側操作盤
35	堂園第一樋管	乙津川	右 5/125	SG	B 2.000×H2.000	4.0	2	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	○	
36	高田第二樋管	乙津川	右 5/590	RG	B 1.500×H1.500	2.3	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
37	森第一樋管	乙津川	左 5/630	SG	B 1.000×H1.000	1.0	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	高機能型機側操作盤
38	森第二樋管	乙津川	左 5/875	SG	B 1.000×H1.000	1.0	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
39	岩舟堰	乙津川	6/040	ゴム堰	B26.760×H1.730	46.3	1	電動	プロロー式		○		無	無	無	無停電電源装置あり
40	高田樋管	乙津川	右 6/040	RG	B 2.000×H2.000	4.0	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
41	鶴瀬樋管	乙津川	右 6/230	RG	B 1.250×H1.500	1.9	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	無	
42	横尾第二樋管	乙津川	左 7/100	RG	B 2.500×H2.500	6.3	2	電動	ビンラック	連動	○	○	○	○	無	
43	横尾第一樋管	乙津川	左 7/480	FG	B 0.800×H0.800	0.6	1	無 し			無	無	無	無	無	
44	谷川樋管	乙津川	左 7/965	RG	B 1.350×H1.350	1.8	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	無	
45	大津留樋管	乙津川	右 8/325	FG	B 0.700×H0.700	0.5	1	無 し			無	無	無	無	無	
46	光永第三樋管	判田川	左 0/245	SG	B 1.000×H1.000	1.0	1	簡易電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	○	
47	光永第二樋管	判田川	左 0/475	FG	B 0.600×H0.600	0.4	1	無 し			無	無	無	無	無	
48	光永第四樋管	判田川	右 0/475	SG	B 1.000×H1.000	1.0	1	簡易電動	ビンラック	単動	○	○	○	無	○	
49	光永第一樋管	判田川	左 0/665	FG	B 1.200×H1.200	1.4	1	手動	ウインチ		無	無	無	無	無	
50	立小野第一樋管	立小野川	右 0/185	SG	B 1.500×H1.500	2.3	1	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	
51	新川樋門	立小野川	左 0/245	RG	B 2.000×H2.000	4.0	2	電動	ビンラック	単動	○	○	○	○	無	

対象設備数（樋門樋管設備 ※フラップゲート含む）

ゲート形式別			開閉機別		
RG	16 箇所	23 門	電動	23 箇所	31 門
SG	12 箇所	13 門	簡易電動	5 箇所	6 門
FG	18 箇所	19 門	手動	12 箇所	12 門
FLG	4 箇所	4 門	無し	14 箇所	14 門
ホトゲート	3 箇所	3 門			
横引き	1 箇所	1 門			
合 計	54 箇所	63 門	合 計	54 箇所	63 門

対象設備数（堰、水門設備）

ゲート形式別			開閉機別		
RG	1 箇所	2 門	電動	4 箇所	7 門
起伏堰	2 箇所	4 門			
ゴム堰	1 箇所	1 門			
合 計	4 箇所	7 門	合 計	4 箇所	7 門

表－１別表(2) 宮崎排水機場設備

機場名	宮崎排水機場
製作会社	(株)ミゾタ
完成年	平成１９年８月
型式	ポンプゲート（水中ポンプ）
口径	φ 1, 0 0 0 mm
吐出量	2 m 3 / 秒
台数	2 台
駆動方式	モータ駆動
所在名	大分市大字宮崎 大分川右岸6k330
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 尼ヶ瀬排水機場設備

機場名	尼ヶ瀬排水機場
製作会社	(株)クボタ
完成年	平成１４年３月
型式	立軸斜流ポンプ
口径	φ 1, 6 5 0 mm
吐出量	5. 5 m 3 / 秒
台数	2 台
駆動方式	立型ガスタービン駆動
所在名	大分市大字荏隈 大分川左岸9k400
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 下田尻排水機場設備

機場名	下田尻排水機場
製作会社	(株)西島製作所
完成年	平成１９年７月
型式	ポンプゲート（水中ポンプ）
口径	φ 1, 0 0 0 mm
吐出量	2 m 3 / 秒
台数	2 台
駆動方式	モータ駆動
所在名	大分市大字田尻 七瀬川右岸0k455
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 迫排水機場設備

機場名	迫排水機場
製作会社	三菱重工業(株)
完成年	平成１５年８月
型式	コラム式水中ポンプ
口径	φ 7 0 0 mm
吐出量	1 m 3 / 秒
台数	5 台
駆動方式	モータ駆動
所在名	大分市大字志村 大野川右岸3k230
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 竹中排水機場設備

機場名	竹中排水機場
製作会社	三菱重工業(株)
完成年	昭和５０年３月
型式	立軸斜流ポンプ
口径	φ 6 0 0 mm
吐出量	0. 6 m 3 / 秒
台数	1 台
駆動方式	ディーゼルエンジン駆動
所在名	大分市大字竹中 大野川左岸18k430
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 鴨園川排水機場設備

機場名	鴨園川排水機場
製作会社	(株)ミゾタ
完成年	平成１９年３月
型式	ポンプゲート（水中ポンプ）
口径	φ 1, 0 0 0 mm
吐出量	2 m 3 / 秒
台数	2 台
駆動方式	モータ駆動
所在名	大分市大字森 乙津川左岸6k190
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(2) 北鼻川排水機場設備

機場名	北鼻川排水機場
製作会社	(株)日立プラントテクノロジー
完成年	平成２０年６月
型式	立軸軸流ポンプ
口径	φ 1, 6 5 0 mm
吐出量	7 m 3 / 秒
台数	2 台
駆動方式	立型ガスタービン駆動
所在名	大分市大字毛井 乙津川左岸8k790
実施内容	故障等の復旧

表－１別表(3)-1 ななせダム機械設備

施設名		ななせダム				
設備名		選択取水設備	利水放流設備			
場所	水系名・河川名	大分川水系、七瀬川	同左	同左	同左	同左
	地名	大分県大分市大字下原	同左	同左	同左	同左
完成年月日		平成３０年１月	平成３０年２月	同左	同左	同左
扉体・戸当り	ゲート形式	側壁付円形多段式（斜樋）シリンダゲート	ジェットフローバルブ（主放流主ゲート）	高圧スライドゲート（主放流副ゲート）	ジェットフローバルブ（小放流主ゲート）	高圧スライドゲート（小放流副ゲート）
	形間（mm）×扉高（mm）×門数	１門	φ900×１門	φ1000×１門	φ450×１門	φ600×１門
	水密方式	円周ゴム水密	前面円周金属水密	後方四方金属水密	前面円周金属水密	後方四方金属水密
開閉装置	開閉方法		ワイヤドラムウィンチ方式	電動スピンドル	同左	同左
	操作方法		機側及び遠方	同左	同左	同左
	動力	常用	電動機 ３Φ 220V 22KW×１台	電動機 ３Φ 220V 11KW×１台	電動機 ３Φ 220V 11KW×１台	電動機 ３Φ 220V 2.2KW×１台
		予備	－	－	－	－
	動力源	常用	商用 ３Φ 220V 60Hz	商用 ３Φ 220V 60Hz	商用 ３Φ 220V 60Hz	商用 ３Φ 220V 60Hz
		予備	－	－	－	－
	開閉機又は減速機	形式・規格	直交軸減速機	－	－	－
	制動機		電動油圧押し式	－	－	－
休止装置		手動式	－	－	－	－
その他		－	操作盤及び電気廻り、付属設 １式			

施設名		ななせダム				
設備名		利水放流設備		分水槽ゲート設備		
場所	水系名・河川名	大分川水系、七瀬川	同左	同左	同左	同左
	地名	大分県大分市大字下原	同左	同左	同左	同左
完成年月日		平成３０年２月	同左	令和元年１１月	同左	同左
扉体・戸当り	ゲート形式	ジェットフローバルブ（斜樋）放流主ゲート	高圧スライドゲート（斜樋）放流副ゲート	スライドゲート（受水槽排水ゲート）	スライドゲート（灌漑用水分水槽制水ゲート）	スライドゲート（発電用水分水槽排砂ゲート）
	形間（mm）×扉高（mm）×門数	φ600×１門	φ600×１門	500×500×１門	300×300×１門	500×500×１門
	水密方式	前面円周金属水密	後方四方金属水密	後方四方金属水密	後方四方金属水密	後方四方金属水密
開閉装置	開閉方法		電動スピンドル	同左	手動スピンドル	同左
	操作方法		機側及び遠方	同左	機側	同左
	動力	常用	電動機 ３Φ 220V 5.5KW×１台	電動機 ３Φ 220V 3.7KW×１台	－	－
		予備	－	－	－	－
	動力源	常用	商用 ３Φ 220V 60Hz	商用 ３Φ 220V 60Hz	－	－
		予備	－	－	－	－
	開閉機又は減速機	形式・規格	－	－	－	－
	制動機		－	－	－	－
休止装置		－	－	－	－	－
その他		操作盤及び電気廻り、付属設備 １式		付属設備 １式		

表－１別表(3)-2 ななせダム機械設備

施設名		ななせダム				
設備名		流木止め設備	堤内排水ポンプ設備			
場所	水系名・河川名	大分川水系、七瀬川	同左			
	地名	大分県大分市大字下原	同左			
完成年月日		平成３０年６月	平成３０年５月			
機器名						
設備形式		本川網場：313.0m（通船ゲート1基） 支川網場：235.0m（通船ゲート1基） 通船ゲート：半自動開閉オートロック式（全長5.6m×有効幅4.0m×有効水深1.5m）	水中ポンプ 口径200mm×37KW×42m			
規格×台数		2基（本川1基、支川1基）	2台			
その他設備①		－	－			
その他設備②		－	－			

施設名		巡視艇	作業船			
設備名		のつはる	ななせ			
場所	停泊場所	大分川ダム貯水池内	大分川ダム貯水池内			
	地名	大分県大分市大字下原	大分県大分市大字下原			
完成年月日		平成３０年３月	平成３０年３月			
機関形式		船外機	船外機			
用途		巡視	作業			
全長		4.12m	4.59m			
定員		5名	4名			
出力		60Ps	20Ps			

施設名		ななせダム				
設備名		利水ポンプ設備				
場所	水系名・河川名	大分川水系、七瀬川				
	地名	大分県大分市大字下原				
製作据付会社名		(株)荏原製作所				
完成年月日		平成３１年３月				
型式		横軸両吸込渦巻ポンプ				
口径(mm)		φ450				
吐出量(m3/s)		0.49				
全揚程(m)		11				
台数		2				
メーカー		(株)荏原製作所				

表－１別表(4) 排水ポンプ車（クボタ製造）		実施内容：故障等の復旧
機械番号	型式等	保管場所
２６－４９４３	水中モータ駆動ポンプ 5m ³ /min×6台 発々駆動	下判田車庫（大分市大字下判田）
３０－４９１１	水中モータ駆動ポンプ 7.5m ³ /min×4台 発々駆動	大分出張所（大分市岩田町）
Ｒ０２－４９２４	水中モータ駆動ポンプ 7.5m ³ /min×4台 発々駆動	米良車庫（大分市大字片島）
Ｒ０２－４９４８	水中モータ駆動ポンプ 7.5m ³ /min×8台 発々駆動	下判田車庫（大分市大字下判田）
Ｒ０２－４９４９	水中モータ駆動ポンプ 7.5m ³ /min×8台 発々駆動	防災ステーション（大分市大字丸亀）
Ｒ０２－４９５０	水中モータ駆動ポンプ 7.5m ³ /min×8台 発々駆動	防災ステーション（大分市大字丸亀）

表－１別表(6) 道路排水設備

設 備 等 の 名 称		下判田道路排水ポンプ	
所 在 名		大分市大字下判田	
ポ ン プ 製 作 会 社 名		（株）鶴見製作所	
完 成 年 月		令和３年２月	令和３年２月
型 式		着脱式水中ポンプ	
ポ ン プ	口 径	φ 1 5 0 mm	φ 5 0 mm
	電 動 機 出 力	7 . 5 k w	1 . 5 k w
	台 数	2 台	1 台
そ の 他		引込開閉器盤	1 面 逆流防止弁 各 1 個
		機側操作制御盤	1 面 ボール弁 各 1 個
		ポンプ槽	1 式 フロートスイッチ 1 式
		吐出水槽	1 式 スクリーン 1 式
		吐出管	1 式 電話通報装置 1 式
実 施 内 容		故障等の復旧	

表-1別表(5) トンネル消火設備

設備名	古城山トンネル消火設備				上尾トンネル消火設備			
所在名	大分市大字片島				大分市大字上戸次			
上り下りの別	上り		下り		上り		下り	
A型消火栓	ホースリール式 32A	10面	給水栓付ホースリール式32A	4面	ホースリール式 32A	14面	ホースリール式 32A	7面
			ホースリール式 32A	17面				
B型消火栓	ホースリール式 32A	11面					ホースリール式 32A	6面
給水栓	自立双口型補修弁付 φ 65	2 個	自立双口型補修弁付 φ 65	2 個				
送水口			自立双口型 φ 65	2 個	自立双口型 φ 65	2 個	自立双口型 φ 65	2 個
大型消火器	強化液消火器 60L	2 個						
消火ポンプ	多段渦巻きポンプ 37kw φ 125			1 台	多段渦巻きポンプ 11kw φ 65			1 台
自動給水ポンプ					φ 25			1 台
取水ポンプ	水中ポンプ φ 40フレクトレベルスイッチ付			1 台	水中ポンプ φ 32			2 台
ポンプ操作盤	閉鎖自立型			1 面	閉鎖自立型			1 面
取水ポンプ操作盤	屋内壁掛型			1 面				
消火水槽	W5m×L6m×H3.15m 水位検知用電極棒（4 極）付			1 基	W3m×L4m×H2.5m（有効高） 水位検知用電極棒（4 極）付			1 基
取水槽	W1.5m×L2.2m×H2.95m			1 基	W3.8m×L1.5m×H2.7m 水位検知用電極棒（3 極）付			1 基
取水枥	W0.8m×L1.2m×H1.55m			1 基				
呼水槽	0.1m3			1 個				
	水位検知用電極棒（3 極）付							
実施内容	故障等の復旧							

表一 1 別表(7) 災害対策車運搬等

機械名称	対策本部車	照明車	待機支援車	路面清掃車	排水管清掃車	その他機材		
規格	拡張型	20m, 7°～4m式	小形	7°反式、降灰対応型	水循環式			
台数	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台	1 式		
免許等	中型	中型(8t限定)移動式クレーン	普通	大型	大型			
保管場所	米良車庫（大分市大字片島）							
実施内容	保管場所から災害地までの運搬・設置・撤収等 必要に応じて訓練等の参加。 また、他事務所が保有する災害対策車等を、大分河川国道事務所管内において使用する場合も含む。							
備考						運搬には、トラック（ユニック車）等が必用		

表-1別表(8) 簡易遠隔操縦装置

装置名	簡易遠隔操縦装置
製作会社	(株) I H I 検査計測
完成年度	令和２年度
取付対象機種	油圧ショベル（バックホウタイプ）
操作方式	ジョイスティック操作
保管場所	米良車庫（大分市大字片島）
実施内容	保管場所から災害地までの運搬・設置・運転指導・撤収、故障等の復旧必要に応じて訓練等の参加

表-1 別表(9) 災害対策車整備

[illegible]